

## 2000年1月1日から2022年11月30日までの期間に 眼科または血液内科でリンパ腫の検査を受けた患者さんへ

現在、当科では「眼内リンパ腫における新規バイオマーカー開発と発症分子機構の解明」（承認番号 M2017-341 番、研究責任者 眼科 高瀬 博）を行っております。これは眼内リンパ腫やぶどう膜炎の眼内液や骨髄における遺伝子変異の有無を解析し、眼内リンパ腫の診断に有用な因子となりうる検査法を確立することを主な目的としている研究です。（研究期間：医学部倫理委員会承認後から2026年3月31日まで）本研究は本学の倫理審査委員会の承認と機関の長の許可の下実施されます。

この研究では住所・氏名など、患者さんの個人情報を使用されることはありません。しかし、もしこの研究への参加を辞退する事を希望される方は、主治医または下記連絡先にお申し出ください。参加を辞退しても、患者さんが今後の治療上の不利益を受けることはありません。既に解析済みのデータも抹消することが可能です。

1. 調査の対象となるのは、2000年1月1日から2022年11月30日までの期間に、当院眼科または血液内科でリンパ腫を疑われ、眼内液検査、血液検査、骨髄検査、病理組織検査を受けた患者さんです。年齢、性別は問いません。

2. 本研究に参加しても当院で行っている眼内リンパ腫やぶどう膜炎に対する診察治療に一切の変更はありません。本研究に参加しない場合と全く同じ医療を受けることができます。すでに採取された眼内液や骨髄における遺伝子変異の有無と、これまでに施行された全身検査、眼内液検査などの結果や診療の記録を調べる解析ですので、合併症の危険性はありません。

3. 「眼内液・眼内組織を用いた眼内疾患の迅速診断」（承認番号：第 M2000-1324 番）および「造血器腫瘍の発症と進展および治療反応性制御機構の研究」本学承認番号 M2017-002 で採取、保存した患者さんの眼内液または骨髄液を用いて、遺伝子変異の有無を解析します。本研究では、ヒトの、次世代に伝わる DNA の解析は致しません。解析する遺伝子は、眼以外のリンパ腫では高い頻度で認められることが知られている遺伝子である Myd88 と CD79b を解析します。また、患者さんのカルテの記録（最終診断名、視力、眼圧、細隙燈顕微鏡検査所見、眼底所見、治療など）と、眼内液検査結果、全身検査結果を調べ、眼内液または骨髄液における遺伝子変異の有無と、診断結果や治療経過、眼内液や全身の各種検査結果の関係を調べます。眼内リンパ腫に特有な遺伝子変異を解明することは、眼内リンパ腫のより正確な診断のために有用な情報になると考えられます。

4. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも主治医（担当医）にお聞きください。さらに下記連絡先に問い合わせることができます。

5. この研究の成果は国内外の学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

6. 本研究を行うにあたっては、患者さんの費用のご負担や謝金は発生しません。本研究は本学への寄付金を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関

係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。  
※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ等の連絡先：

東京医科歯科大学病院 眼科学 講師 高瀬 博

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5302（ダイヤル）（平日 8：30～17：15）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）